

あまりにも悲惨で直視できないような現実が起きていて、やはりこのことを無視してのほほんとしたことばかり書いてはいけない気がして。結局私なんかにできることはない、と目を背けていることなどできず、最近の心のザワザワをとりとめもなく記しておこうと思います。沢山の血を流し、人の命が失われ、多くの国を敵に回してでも守りたいものって何なのだろう？と、その先にあるもの、手にするものってそんなに価値があることなのか、私にはさっぱり理解ができません。しかし私は大きな国の大統領になったことはないので一生かかっても理解できないプライドや価値観というものがあるのかもしれない。けれど、彼一人が悪者なのか、という決してそうではないはずで、複雑に絡み合った世界の中で、何かを買ったり消費したりすることで知らず知らずのうちに自分が遠いどこかの誰かを傷つけたり貧しくさせている、何かに無関心でいる、そういう愛のなさが積もり積もって大きな攻撃力になっているのではないかと...等といったことを考えてしまうのです。戦争にかかわらないから私たちは正しい、なんてことは全くありません。神様から見たら全ての人は同じ罪人です。先日いくつかの団体を通して人道支援のための寄付をしました。しかし、報道で、砲弾の破片が当たって死んでしまった1才の赤ちゃんのお母さんが病院で泣き崩れる姿を見て、とてもな絶望を感じました。私のわずかな寄付など、このお母さんの心を癒すこともできないのだと。サタンは絶望を見せます。ほら、お前のやることなど何の力もないよと。平和を作ることなどできない、神はどこにいるのだとささやきます。それでも私は小さな平和を、自分のできる範囲で愛を示し、平和を作り出す者でありたいです。神様の造られた美しく、栄光があふれる世界の小さなヒビ割れを皆で修復したいのです。

まきばでひとやすみ

